

別記第 1 号様式（第 7 関係）

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和 4 年度 豊島区新型インフルエンザ等対策推進協議会
事務局（担当課）		地域保健課・健康推進課
開 催 日 時		令和 5 年 2 月 22 日（水）午後 7 時 30 分～午後 9 時 00 分
開 催 場 所		豊島区医師会館 講堂
議 題		1. 委員紹介 （1）保健所長あいさつ （2）出席者自己紹介 2. 議事 （1）新型コロナウイルス感染症の状況等について （2）新型インフルエンザ対策備蓄品状況について （3）最近のインフルエンザ発生の動向について （4）今後の課題について （5）その他
公開の 可否	会 議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 0 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由

出席者	委 員	・ 畑 明宏 ・ 田口 享子 ・ 大部 雅英 ・ 北堀 和男 ・ 湊 通嘉 ・ 高田 靖 ・ 伊原 孝子 ・ 植原 昭治
	理 事	・ 豊島消防署警防課長（代理） ・ 池袋消防署警防課長（代理） ・ 危機管理担当課長 ・ 地域保健課長 ・ 生活衛生課長 ・ 感染症対策調整担当課長 ・ 新型コロナウイルスワクチン接種担当課長 ・ 長崎健康相談所長

審 議 経 過

1. 委員紹介

(1) 保健所長あいさつ

- 区 本協議会は、平成 30 年以來 4 年ぶりの開催。新型コロナウイルス感染症が始まって 3 年になるため、その振り返りをしながら、新型インフルエンザ等に係る備蓄状況、今後の計画についてご意見等いただきたい。

(2) 出席者自己紹介

2. 議事

(1) 新型コロナウイルス感染症の状況等について

・新型コロナウイルス感染症対応の振り返り

資料 1－1 「新型コロナウイルス感染症対応の振り返り」

- 区 (事務局より資料について説明)

・新型コロナウイルスワクチン接種について

資料 1－2 「新型コロナウイルスワクチン接種実績」

- 区 (事務局より資料について説明)

・豊島区新型コロナウイルス感染症対策本部の取り組みについて

資料 1－3 「豊島区新型コロナウイルス感染症対策本部の取り組みについて」

- 区 (事務局より資料について説明)

(2) 新型インフルエンザ対策備蓄品状況

資料 2 「新型インフル備蓄状況」

- 区 (事務局より資料について説明)

- 区 備蓄物品や数についてご意見をいただきたい。

(3) 最近のインフルエンザ発生の動向について

資料 3－1 「最近のインフルエンザ発生の動向について」

資料 3－2 「鳥インフルエンザ A(H7N9) の発生状況」

資料 3－3 「鳥インフルエンザ A(H5N1) 発生国及びヒトでの確定症例」

- 区 (事務局より資料について説明)

(4) 今後の課題について

資料4「今後の課題について」

区 (事務局より資料について説明)

区 全体を通してのご意見やご質問、この場で協議すべき議題があればお願いしたい。

委員 新型コロナウイルスワクチン接種について、乳幼児の接種率が低い。集団接種の実施について、また個別接種も接種期間が決まっているので、接種促進の対策はどうするか教えていただきたい。

区 集団接種も一つの課題として認識している。保護者の方の接種に関する心配も原因としてあげられる。感染の状況、接種を受けることによる感染予防・発症予防・重症化予防になることの周知をさらに進めながら、接種促進について改めて検討していく。

委員 いつでも接種をしてもらいやすい環境を作るとよい。本人だけでなく、家族の健康を守るためにも押さえておきたい。

区 関係機関からご意見をいただきながら、今後の課題として検討する。

委員 薬剤耐性がどうなっているか、医療資器材、薬剤などの備蓄がどの程度使えるかということも含めて考えていかないといけない。情報提供をしていただきたい。

区 新型コロナウイルス感染症3年間で、入院調整が一番大変だったと感じる。朝までかかっても受け入れ先が見つからない等、逼迫した状況だった。5類移行後については、国の決定を踏まえ、東京都と十分にすりあわせを行いたい。

救急について、現在がどのような状況か、感染拡大時期に大変だったことや、またこうしたらよくなるなどあれば教えていただきたい。

理事 昨年末、救急車が横転する事故があった。救急隊の長時間活動が続いている時期で、後ほど、どれくらい働いていたか確認したところ昨年の12月から1月はひどい時で24時間ずっと働いているという状況であった。現在は患者数も減ってきており、救急隊の病院選定時間が長くなることも少なくなってきた。これがいつまで続くか不安があるが、以前より落ち着いてきたと感じる。

理事 コロナ禍では、救急隊も感染の危険を伴いながら救急活動にあたった。昨年12月から1月は、都内全域で他区の消防署に出動したり、反対に他区の救急隊が豊島区で対応することもあった。当時は搬送先の病院がなかなか見つからず、交替しながら病院の選定にあたった。今後、5類になった時に、引き続き民間救急車が利用できるかなど気になっている。引き続きご協力をお願いしたい。

理事 先ほどの薬剤耐性の質問についての確認。例えば、鳥インフルエンザが発生して予防投与するときに、薬剤耐性情報をいざというときに早く教えてほしいという意味合いでよいか。

委員 そのとおり。新型インフルエンザ、もしくは薬剤耐性がないものがあれば、予防的な

ものを投与し抑えることで感染拡大を防ぐ方法がある。既存以外で今ないものが拡大の傾向にある場合は準備が必要になるので、速やかに情報提供してほしい。薬剤不足がでてくる可能性もある。

理事 薬剤耐性の速やかな情報提供について、今後計画に含める必要があるかもしれない。予防投与をする際、そのケースに対しての耐性がわかるのに期間を要するが、流行の状況がわかれば見当をつけたり、薬の対応を変えるなどの対策をされるのか。

委員 例えば、高病原性インフルエンザが流行した場合、一般の診療所は即座に型などを知ることができない。先に海外で流行りだしたということであれば、どの薬を第一選択薬に決めて対応するとか、どの薬なら予防的に使ってもよさそうかなどを判断する材料になりうる。情報があればぜひ伝えていただきたい。

区 現在備蓄しているものは資料2に記載のとおりだが、他に加えていった方がいい薬剤などあるか。

委員 現在は「ゾフルーザ」が入っていない。これまでのインフルエンザのものと作用機序が違うが、ウイルスの減少も速い。まだ小児の推奨は出来ないが、臨床研究も進んでいるのでそのうちに使えると思う。タミフルとあわせて備蓄するといいいのでは。

委員 薬剤耐性の部分でまだ整備できていない状況。

委員 本当に薬効があるか、どんな薬剤をどういう風に使うか考える必要がある。

委員 随時、情報を共有していきたい。

区 新型インフルエンザなので、何の薬が効くか最後までわからないこともある。なるべく作用機序が違うものが複数あった方がよいと思われる。保健所の備蓄として、調査・入院調整をする保健所職員の予防内服、家族に対して処方する可能性を含め考えていきたい。

委員 備蓄に向かない薬について、使用期限が非常に短いのが最大の問題である。高額なので、準備して廃棄するようなことがあってはならないと思う。そのためにも色々な情報を早く知っておきたい。

委員 コロナのことだが、デルタは重症化する人が多かったが、オミクロンはワクチン接種もあり重症化する人が減少した。また、夜間の救急搬送について、軽症の人が救急を呼ぶこともあり、本当に必要な人の搬送ができない事例もあったと思う。5類相当になれば変わると思うが、救急の方も苦慮されている。地域住民の方に普段から急変したときにどういう対応するか、高齢化する医療に対して考えていけるといい。

委員 コロナに関してだが、救急車を呼ぶ線引きが課題だと感じた。中小のクリニックや病院、保健所もそうだと思うが電話がかなり多く、音声案内の対応もしたが整備をしないといけないと感じた。オミクロン以降は、東京都や保健所が整備されて少しやりやすくなった。これからは、救急のところでもう少し出来たらよいと思う。

委員 当院では、高齢者の方の診療が多い。豊島区は集団接種を中心にしていて、個別接種が少ない。高齢者をどのように集団接種会場に行かせるかとか、ワクチンが病院に入

ってくるまで接種ができないこともあり困った。希望する方には来た時に打てるような、供給ができるような仕組みにしてほしい。

委員 今まで本協議会で議論してきたことが、コロナ禍で実践するかたちになった。会議で想定したことをすべてやりきったように感じる。今後のことを考えると、国民の意識として感染症に対して恐怖心が植え付けられた。5類になったからといって元通りとはならないと思う。自院の病院規模では発熱外来も空間的に分けるのが困難なため時間で分けるようしている。変化に対応した診療体制を敷けるような方法も考えていただきたい。

委員 コロナ禍では、ホテル療養中に歯が痛くなる人も多く訪問診療が必要になる場面があった。訪問診療ができる医療機関がなく、東京都から依頼されて豊島区内だけでなく、近隣の地区も対応が必要になることもあった。他の地区においても同様の体制が整っていると良いと感じた。

委員 現在の2類の段階では、発熱外来もしくはコロナの検査を受けてきた方で感染の可能性がある場合には、薬局においても医療機関と同様に感染予防に気を付けている。受付の空間を分けたり、手袋を着用してお話をお伺いするようにしている。今後、5類になることでこういった対応も変わっていくのではと考えている。

(5) その他

区 今後も新型インフルエンザ等対策行動計画の改定等があるので、引き続きご協力をお願いしたい。

閉会のあいさつ

※ 審議経過の記載が2頁以上にわたる場合は、右肩にNo.を付す。

提出された 資料等	資料 1－1	新型コロナウイルス感染症対応の振り返り
	資料 1－2	新型コロナウイルスワクチン接種実績
	資料 1－3	豊島区新型コロナウイルス感染症対策本部の取り組みについて
	資料 2	池袋保健所新型インフルエンザ対策医療資器材備蓄状況
	資料 3－1	最近のインフルエンザ発生の動向について
	資料 3－2	鳥インフルエンザ A (H7N9) の発生状況
	資料 3－3	鳥インフルエンザ A (H5N1) 発生国及びヒトでの確定症例
	資料 4	今後の課題等について
	参考 1	5 類移行に係る主な施策の内容
	参考 2	基本指針及び予防計画の見直し等について
	参考 3	感染症法等の改正を踏まえた保健所の強化等の資料